

精密ねじり疲労試験

1～100N・mの小トルクねじり疲労特性を評価いたします。

測定技術の概要

最大トルク100N・mの小型ねじり疲労試験機を用いて、小トルク精密ねじり試験およびねじり疲労試験を行います。

試験機は、ねじり荷重に加え、軸方向荷重(圧縮・引張)を同時に与えることができ、引張・圧縮とねじりの複合荷重を同時に付与する試験にも対応可能です。

試験機は、年間を通して恒温・恒湿に保たれた試験室に設置されており、アルミ合金や樹脂等でも温度の影響を受けることなく、精度良く評価することができます。

【試験概要】

試験環境	恒温・恒湿、大気中 大気以外の環境(37°C・0.9%NaCl水溶液中など)は、ご相談下さい。
試験方法	ねじり疲労試験(最大±100N・m)、静的ねじり試験(最大70N・m)
疲労試験周波数	0.1～30Hz
評価対象の部材例	シャフト・ギア・カム類、溶接組み立てコラム

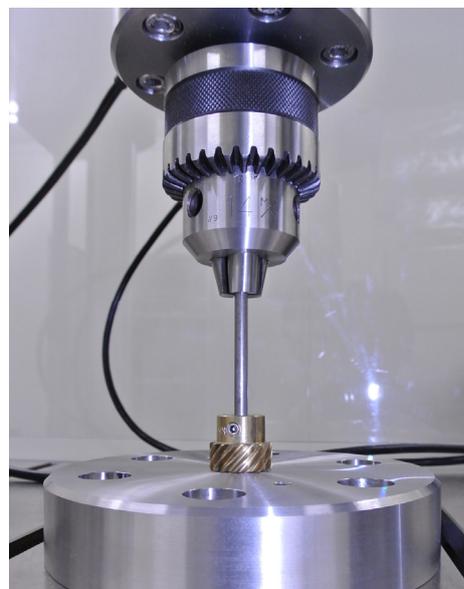
ねじり試験例



100N・mねじり疲労試験機



アルミ押出材のねじり疲労試験



ギアシャフトの疲労試験